

団体名		公益財団法人 武蔵野市子ども協会				
事業	指標名	地域子ども館事業(学童・あそべえ事業)を軌道にのせる			目標値	子ども協会に運営を任して良かったと評価される
	過去の実績	平成26年度	平成27年度	平成28年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:)	事業受託の検討	事業受託の検討	事業の受託	29年4月、長い間検討を重ねてきた事業の受託をすることができた。	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目				(2) 事業評価の導入と事務事業の見直し	
	設定理由等	※指標、目標値の設定理由等について記入してください。 29年4月、子ども協会が地域子ども館の運営を任された。市からは委託に当たって多くのことを期待されており、今年度にその検度も予定されている。子ども協会としては、すみやかに事業を軌道にのせ、市や市民から子ども協会に任せて良かったと評価される必要があるため。				
取組内容	※目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 子ども協会への事業委託により、市が期待している次の点について検証し、効果を説明できるようにする。 ①学童事業とあそべえ事業の連携強化 ②学校や地域との連携の強化 ③障がいのある子どもや配慮が必要な子どもへの支援強化 ④安心して子どもを任せられる現場対応力 ⑤子どもの健やかな育ちを支える育成の質の向上 ⑥子ども協会の運営により市が新たに得られる補助金を活用した人的体制の強化					
財務	指標名	老朽化した施設の改修への対応			目標値	施設の適正な維持管理と改修の財源確保の検討
	過去の実績	平成26年度	平成27年度	平成28年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:)		30.0%	50.0%	協会施設の当面の維持管理と将来のあり方の検討	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目				(1) 経営健全性の確保	
	設定理由等	※指標、目標値の設定理由等について記入してください。 子ども協会が管理する保育園は施設の老朽化が進み、施設の改修に多額の費用がかかる事態が発生してきている。子ども協会のみでは対応できないことも想定され、市と協議しながら施設の適正な管理方法や必要な財源の確保を検討していかなければならない。				
取組内容	※目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①施設の管理については、当面の間、市の施設課の支援を受けることとなっているが、市からは将来的には協会の施設の維持管理のあり方を検討するように求められている。将来的なあり方を検討し、市と認識を共有化する。 ②現在、施設の大規模修繕については、公立園同様に市で保安全管理をしており、予算概算要求によりその都度予算の確保をしているが、老朽化した施設で緊急工事で対応しなければならない際など機動的な対応ができていない。緊急時の対応やその財源確保についてルールを検討する。					
内部管理体制	指標名	職員の人事・給与制度の検討			目標値	職員のやる気のでる人事・給与制度の導入
	過去の実績	平成26年度	平成27年度	平成28年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:)	主任昇任試験制度導入	給与制度の見直し	内部登用試験制度等の導入	市や他の財政援助出資団体に準じて制度の導入や見直しを行ってきている。	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目				(5) 人事・給与制度の見直し	
	設定理由等	※指標、目標値の設定理由等について記入してください。 市の人事・給与制度が大幅に変わり、各財政援助出資団体では市との均衡を取ることが求められている。給与制度については市に準じた見直しを行ったが、地域子ども館事業を受託し、いろいろな勤務体制ができたため、現在の職員とどのようにバランスを図るのかを検討する。将来を見据えて、引き続き職員のやる気のでる人事・給与制度を検討しなければならない。				
取組内容	※目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①市や各財政援助出資団体の制度の比較を行い、引き続きバランスのとれた人事・給与制度を検討する。 ②地域子ども館事業を受託し、いろいろな勤務体制ができたため、現在の職員とどのようにバランスを図るのかを検討する。 ③係長昇任試験制度を導入する。 ④職員研修の充実を図る。 ⑤退職後の高齢者の再雇用制度の導入と退職金の制度見直しについて検討する。 ⑥嘱託職員から正規職員への内部登用制度を適切に運用する。 ⑦希望する嘱託職員は無期雇用への切替を行う。 ⑧人事評価制度について研究する。					